

15 ビーン・ボウリング (ゲーム・スリーその2)

場所	人数	対象年齢	運動強度
屋内	シングル (計2人)、ダブルス (計4人) 団体戦も可能組 (5人対5人など)	誰でも可	軽度

特 色

ビーン・ボウリングは、現在の室内ゲームで大型機械化されたボウリングを、ピン配列を横一列に簡便化したもので、名の通り、豆がはじけるようにピンにボールが当たると反転したり、自動的に元にもどるようになっています。コントロールやバランスを競うゲームで、体格や体力に関係なく、誰でも楽しめます。

用 具

- <ピンセット> 1 (幅100cm×奥行き64cm×高さ56cm)
- <ボ ー ル> 4 (赤・白 各2 直径11.5cm、重さ680g)
- <レ ー ン> 専用レーン 91cm×10m

競技方法

- (1) ジャンケンによって先攻 (赤) 後攻(白)を決め、主審のコールによってプレーを開始します。
- (2) プレーヤーは、1 フレーム2 球 (同色球) ずつ投球します。
- (3) 投球ラインからピンまでの長さは、5 m、7 m、9 mでこの3つの投球ラインから3 フレームずつ、すなわち9 フレーム投げて1 回のゲームとなります。
- (4) シングルス、ダブルスとも同様に、申し合わせ事項を設けて9 フレームとも投球距離を等距離にしてもかまいません。
- (5) 室内ボウリングとほぼ同じです。プレーヤーは、ボールを転がして9本のピンに当て、反転したピン数を得点とします。但し、反転後リバウンドし、元にもどったピンは得点として加算されません。
- (6) 9本のピンのうち、中央にある無表示のピンは、ストライクピンと呼び、最初の投球で反転した場合は、20点 (ストライク) となります。また、2投目でストライクピンを反転した場合はスペアとなり、10点の得点となります。

- (7) 1 投目にストライクピンが反転し、2 投目で5 の表示ピンが反転した場合の1 フレームの得点は、25 点となります。
- (8) ストライクやスペアをとっても、次のフレームには加算されず1 フレームずつの得点を合計して競い合うところが、一般のボウリングとは異なるところです。
- (9) ボールは、決められた投球ラインと一つ後の投球ラインの間（投球エリア）で投球動作し、投球します。
- (10) 投球動作中に投球ラインを踏んだり、超えた場合やボールを転がした後、足が投球ラインから出るとファールとなります。取得した得点は無効となり、投順は次投者に移ります。

